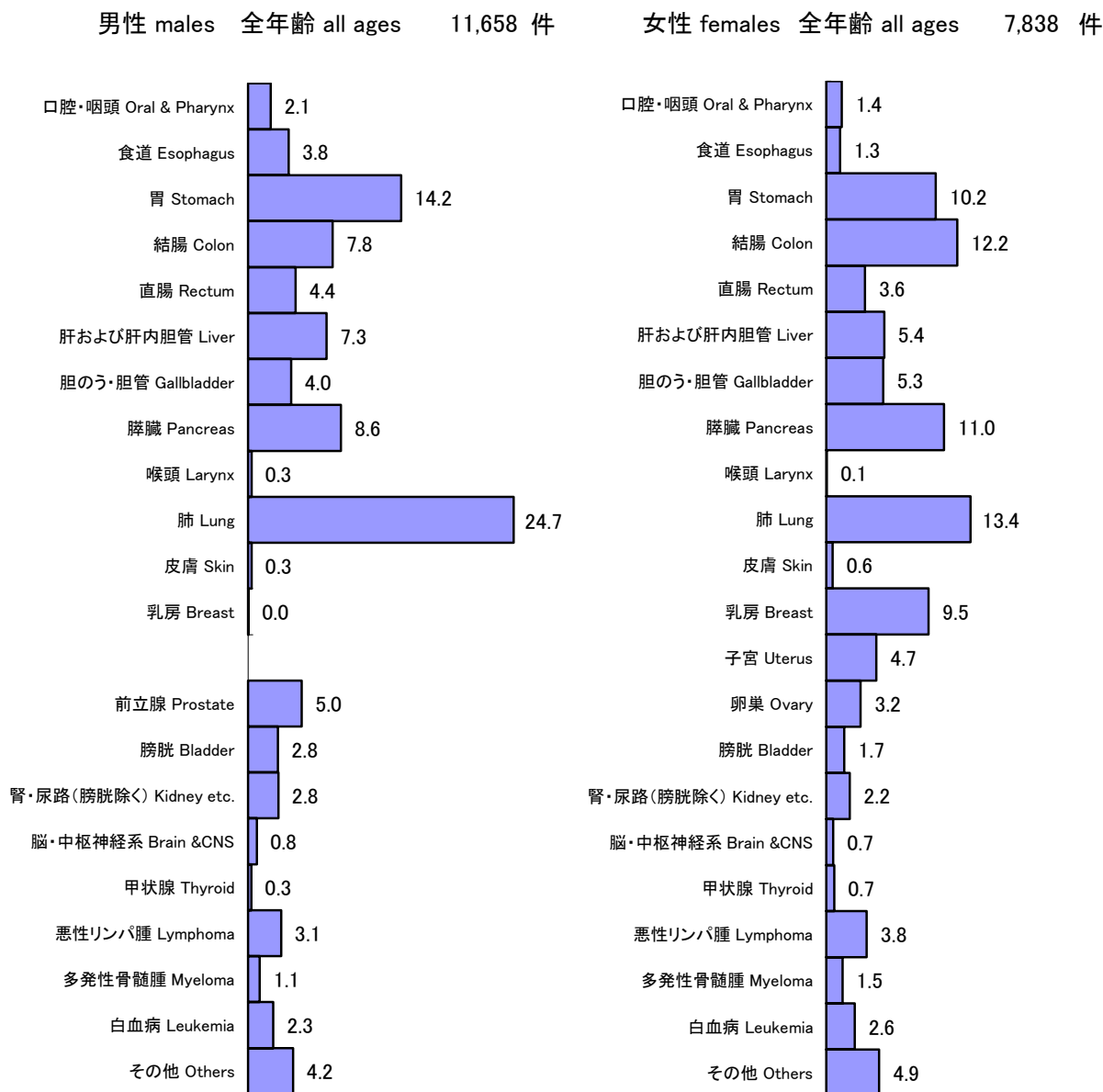


3. 死亡の状況 Cancer Death in 2018

2018年に愛知県において、男性11,658人、女性7,838人、合計19,496人の方が、がんを原因として死亡された。部位別では、男性で最も死亡数の多い部位は肺であり、胃、膵臓、結腸、肝臓と続く。女性では、肺が最も多く、結腸、膵臓、胃、乳房と続く。男性の前立腺がんや女性の乳がんは、罹患率が比較的高かったが、死因としてそれほど多くないことがわかる(図9)。

図9 部位内訳(%) (表9から作成) Figure 9 Percentage of Cancer Death by site



年齢別にみたがんの死亡 Age-Specific Cancer death

男女ともに、愛知県で2018年にがんで死亡された方の約87%が65歳以上の方であった。ほとんどの部位のがんは、年齢が高くなるほどかかりやすくなるため、がんによる死亡者も高齢者が多い(図10)。

40-54歳のがんによる死亡は、男性では肺がんと膵臓がん、女性では乳がんが多い。39歳以下のがんによる死亡は、男性では胃がんと脳・中枢神経系のがんが、女性では乳がんが多い(表11)。

主ながんの年齢階級別死亡率をみると、胃がんは男性70歳以上、女性85歳以上で、結腸がんは男性80歳以上、女性80歳以上で、肺がんは男性65歳以上、女性80歳以上で、それぞれ千人に1人以上の死因となっている(図11)。

図10 年齢別内訳(%) (表10から作成)

Figure 10 Number and Percentage of Cancer death cases

年齢階層 Age group	14歳以下	15-39歳	40-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
男性 Males	8	55	1,340	3,356	6,899	11,658
女性 Females	12	66	1,120	1,735	4,905	7,838
総数 total	20	121	2,460	5,091	11,804	19,496

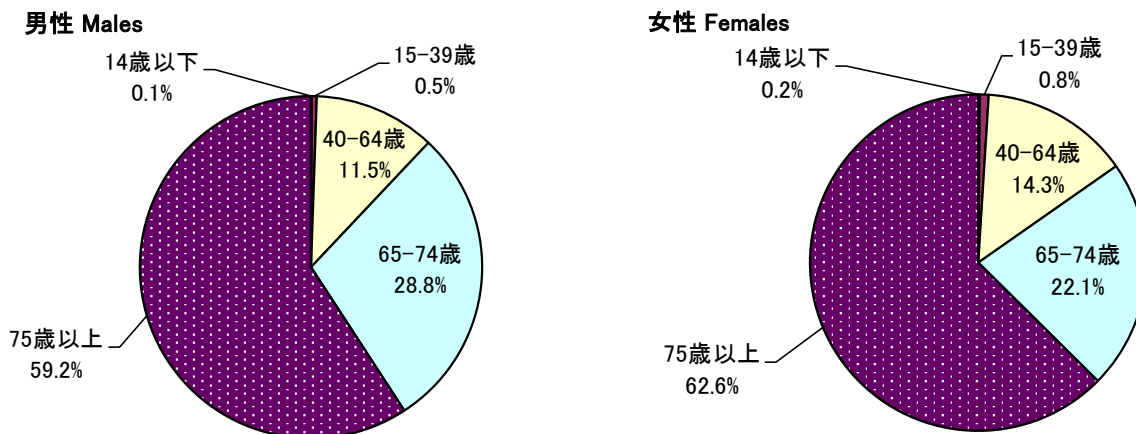
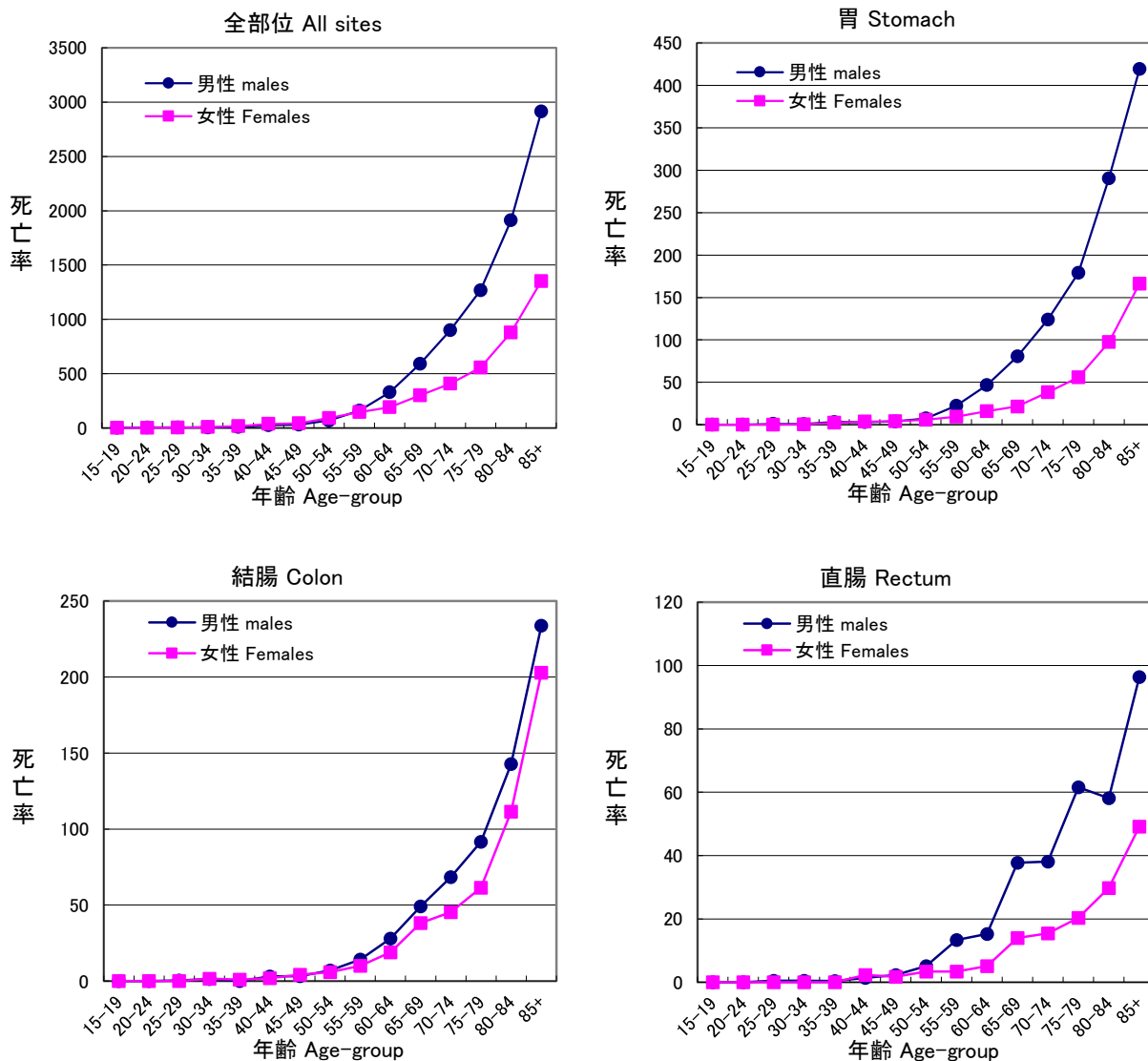
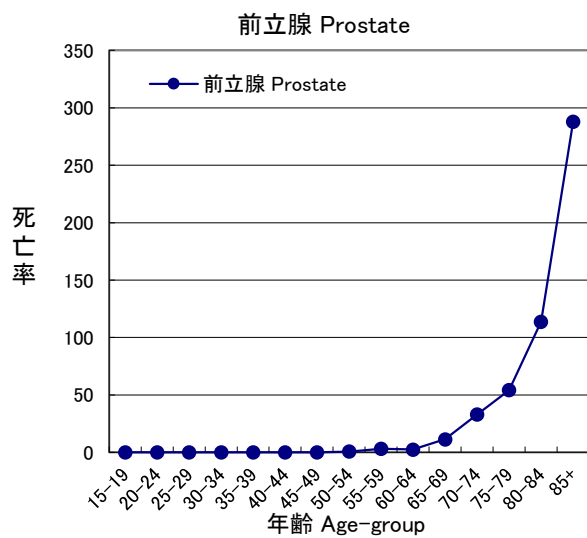
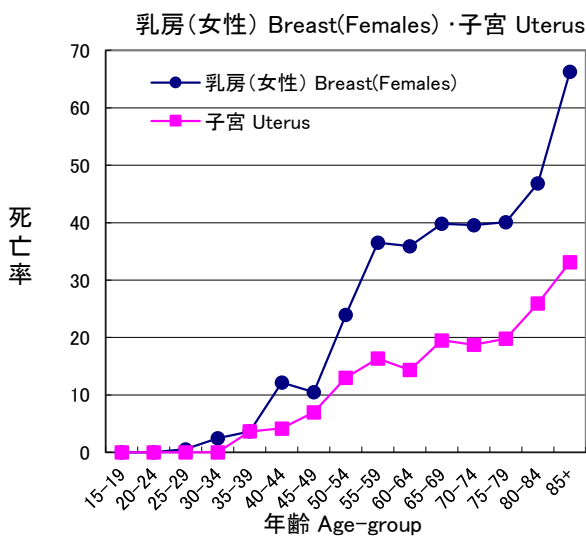
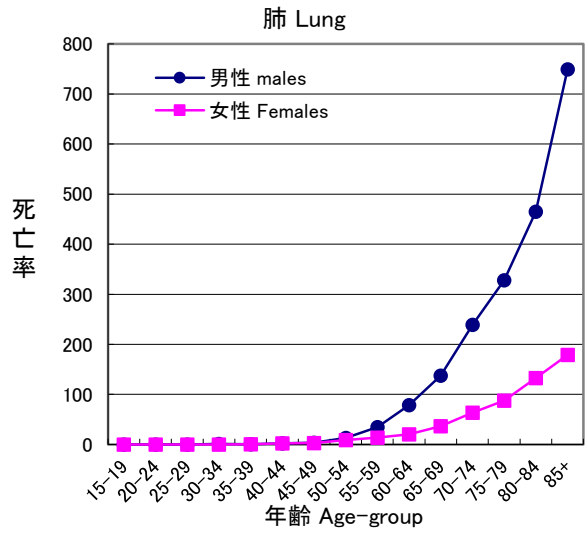
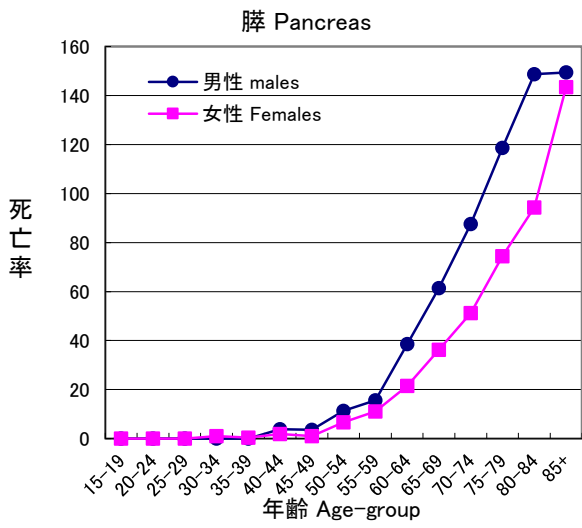
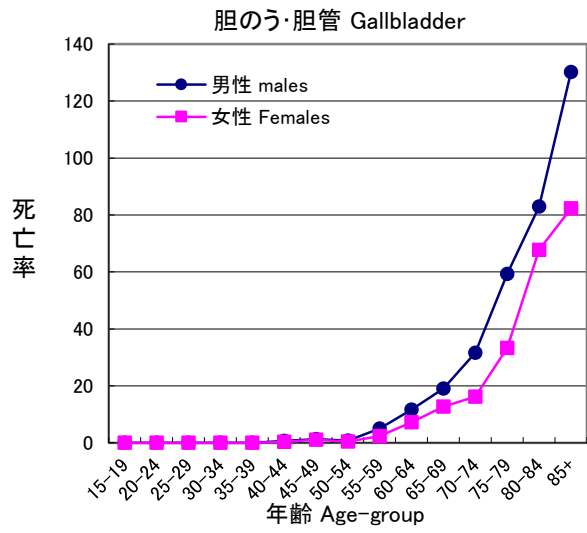
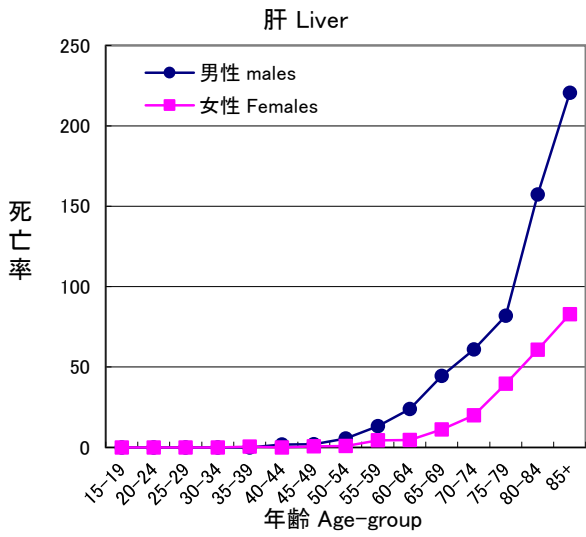


図11 部位別年齢階級別死亡率:人口10万対 (表11から作成)

Figure 11 Age-Specific Death Rates by Cancer site

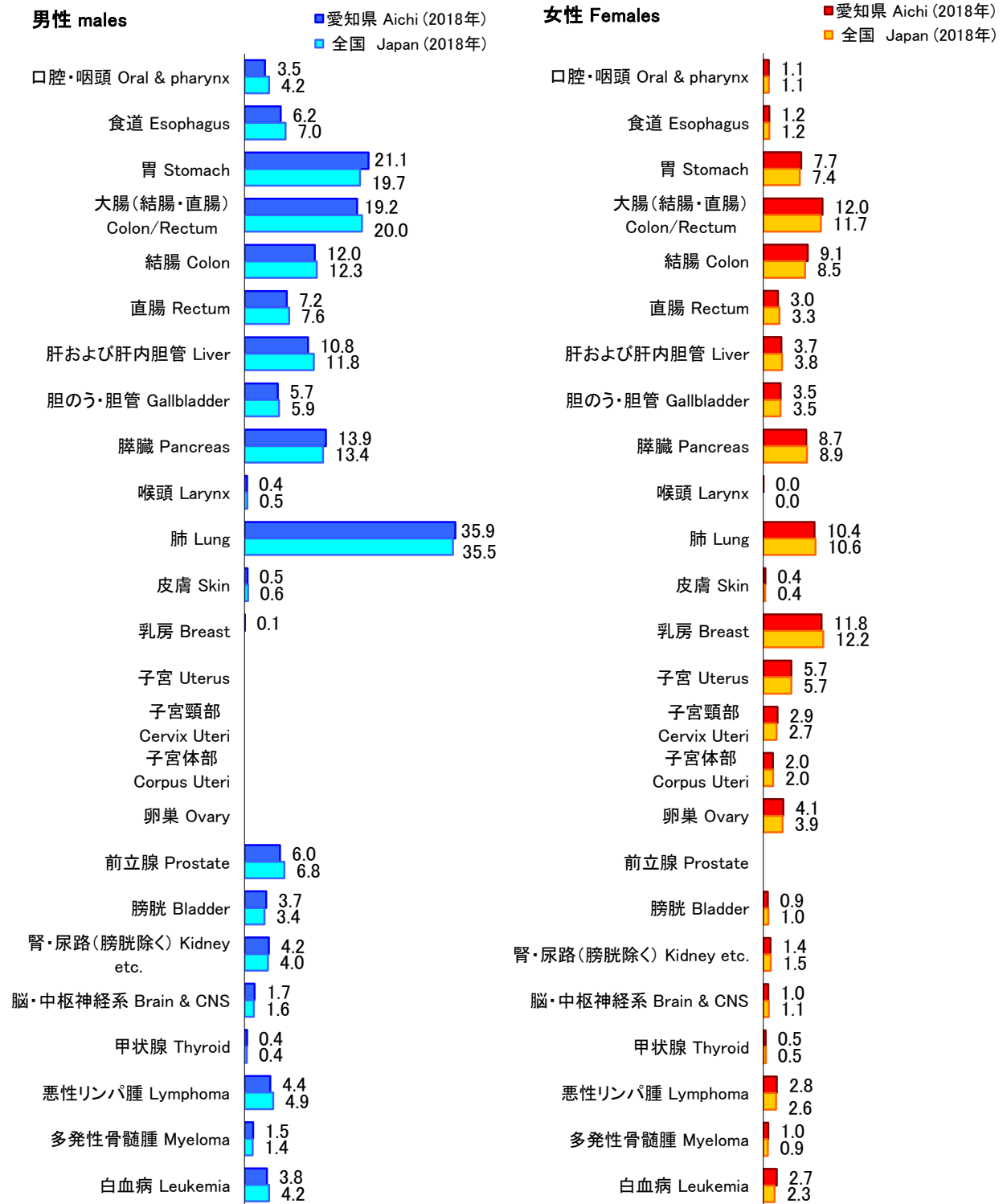




愛知県のがん死亡の特徴 Aspects of Cancer Death in Aichi

愛知県の部位別がん死亡率を日本全体の値と比較すると、男女とも各部位においてほぼ同等であるが、男性の肝および肝内胆管ではやや低い傾向が、男性の胃ではやや高い傾向がある(図12)。

図12 部位別がん年齢調整死亡率(日本人口による):人口10万対 (表9から作成)
Figure 12 Age-Standardized Death Rate by Cancer Site (by Japan population)



国の値は、国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(厚生労働省人口動態統計)より引用